

第 2 回川越市総合計画審議会 事前質問一覧（資料 1 総括関係）			資料 3
	事前質問	対応	該当ページ
1	【4 7 住民自治の推進：市民協働でまちづくりを進めていると感じている市民の割合】 進捗B評価であるが、基準値が 0 でデータがないだけで、H 2 8 の 4 3. 7 から R 5 の 4 1. 3 と低下していることから基準値 0 から悪化はしていないが進捗C評価とするべきではないかと思うがいかがか 【4 7 住民自治の推進：市政情報が分かりやすく提供されていると感じている市民の割合】 進捗B評価であるが、基準値が 0 でデータがないだけで、H 2 8 の 7 6. 2 から R 5 の 7 6. 1 と低下していることから基準値 0 から悪化はしていないが進捗C評価とするべきではないかと思うがいかがか 【4 8 行政経営マネジメントの推進：施策指標達成状況】 進捗B評価であるが、基準値が 0 でデータがないだけで、H 3 0 の 4 2. 0 から R 5 の 2 5. 2 と低下していることから基準値 0 から悪化はしていないが進捗C評価とするべきではないかと思うがいかがか 以上から、指標の評価Cについて、【C:直近の実績値が基準値（平成 2 6 年度）から悪化している。又は基準値データがない場合は経年悪化している。】とするべきではないか	【4 7 住民自治の推進】の 2 つの指標については、第四次川越市総合計画を策定した際に、平成 2 7 年度の市民意識調査の調査項目として設定したものであるため、平成 2 6 年には実績値がなく、基準値を 0 としたものです。 また、【4 8 行政経営マネジメントの推進】の指標については、計画策定後の平成 3 0 年度から指標の達成状況を調査したため、基準値を 0 としたものです。 ご指摘の通り、最初の実績値と比較した場合に、直近の実績値が悪化していることから、進捗B評価としたものを C 評価に修正いたします。 この場合に、第 8 章の進捗状況は以下のとおりとなります。 A 評価： 2 B 評価： 6 ⇒ 3 C 評価： 2 ⇒ 5 また、第 1 章から第 8 章の進捗状況の集計結果は、以下のとおりとなります。 A 評価：28（27.7%） B 評価：42 ⇒ 39（38.6%） C 評価：31 ⇒ 34（33.7%）	第 8 章 9 ページ目

第2回川越市総合計画審議会 事前質問一覧（資料2「はじめに」関係）

	事前質問	対応	該当ページ
1	2－1（3）広域交通網に北環状線を加えるべきではないか。	現在の案では、高速道路や国道のみの記載となっておりますが、御意見を踏まえ、県道に関する記載について検討します。	5
2	「山王塚古墳」や「河越館」の記載を加えてもよいのではないか、また、どこかに（12ページの産業でもよい）東洋大、東京国際大、尚美大、東邦音大など大学が集積する文教都市としての視点も加えられないか	・「山王塚古墳」や「河越館」について 国指定史跡として、貴重な歴史的遺産でありますので、「5 歴史や文化を生かしたまちづくり」への追記を検討します。 ・大学について 御意見のとおり、本市には多くの大学が集積しており、まちづくりにおいても、地域課題の解決に向けた大学との連携などは、今後さらに重要になるものと考えます。このため、「はじめに」で市の特長として記載することや、今後検討を行う分野別計画の中で、大学を含めた様々な主体との連携等について記載することを検討します。	14
3	（1）産業の特色 又は 14ページの5 歴史や文化を生かしたまちづくりの中に「世界農業遺産 武蔵野の落ち葉堆肥農法」の記載を加えるべきではないか	「世界農業遺産武蔵野の落ち葉堆肥農法」については、本市の農業の特色の一つとして、「4 産業（1）産業の特色」の中での記載を検討します。	12
4	本市の抱える課題の記載が簡単すぎるように思うので、以下の意見を踏まえもう少し詳しくしていただきたいと思う。（本編で詳細な分析があると思うが） 23・24ページの3本市を取り巻く社会情勢 の各項目の中で本市の状況について記載があったほうが分かりやすいのではないかと思うが、無理ならば25ページで調整していただければありがたい。	「はじめに」においては、計画の導入部分として、人口減少など市全体を取り巻く社会の変化について記述し、そのような変化中であっても、持続可能なまちづくりを進めていく必要があるという、市全体にかかわる大きな課題を示したいと考えています。 御意見をいただきました、課題や市の取り組み状況等につきましては、政策分野ごとの課題とそれに対する方策として、今後、基本計画（分野別計画）の検討を進める中で、課題の整理等を行いながら、記載の必要性等を検討したいと考えております。	23～25
5	1 少子高齢化・人口減少 の中に本市の人口動向について記載してもよいのでは。		23
6	2 人と人とのつながりの希薄化 の中に本市の自治会の加入率の低下など記載してもよいのでは。		23
7	3 共生社会の実現 の中で同性婚についての本市の取り組みを記載してもよいのでは。		23
8	4 地球温暖化による気候変動 の中で本市の脱炭素への取り組みや市内での気象観測所の必要性について記載してもよいのでは。		23
9	5 大規模災害リスクの高まり の中に本市の令和元年東日本台風での越辺川の堤防決壊など災害発生を記載してもよいのでは。		23
10	6 新興感染症流行のリスク増大 の中に鳥インフルエンザの人から人への感染など新型インフルエンザの脅威を記載してもよい、また、本市の保健所での新型コロナへの対応について記載してもよいのでは。		24
11	7 公共施設の老朽化 の中で本市の施設の老朽化について記載してもよい、また、複合化・集約化の記載があってもよいのでは。		24
12	8 人工知能や情報通信技術の急速な進展 の中で発展と同時に技術の悪用によるフェイク情報や犯罪手口の巧妙化などについて記載してもよい、また、本市の市民サービスの利便性向上への取り組みについて記載してもよいのでは。		24
13	9 持続可能な開発目標（SDGs）の推進 の中で本市の計画などの取り組みについて記載してもよいのでは。		24
14	10 ウェルビーイングの向上 の中で本市の健康づくり計画の取り組みについて記載してもよい		24

	事前質問	対応	該当ページ
15	P10本市の転入数・転出数の推移をみると、転入、転出差分がR2以降増加傾向なので市外の人にとって川越市に住む事が必要または魅力があり住む人が増えていると取れます。 川越市は具体的な転入理由と転出理由を把握していますか？それはどのようなものがありますか？	具体的な転入理由と転出理由を把握するため、令和6年12月2日（月）から令和7年2月28（金）の期間で、転入、転出手続きの際に、アンケート調査を実施しており、現在、集計作業行っているところです。	10
16	P11単独世帯の推移に加えて、総合世帯数推移を教えてください。	本市の世帯数の推移は以下のとおりです。 R2(2020) 160,036世帯 R3(2021) 162,101世帯 R4(2022) 164,005世帯 R5(2023) 165,838世帯 R6(2024) 167,364世帯 R7(2025) 169,532世帯	11
17	P21の歳入決算の推移（一般会計）の内訳で、「1その他、2市債、3繰越金、4繰入金、5使用料・手数料、6国・県支出金、7地方交付税等、8譲与税、交付金等、9市税」とありますが、川越市でコントロールできる可能性があるのは2市債、5使用料・手数料、9市税のみの理解で良いでしょうか？ 市債は62億円、使用料・手数料は28億円に対して市税は587億円と金額が大きい、川越市は市税を増やす具体的な施策については何を考えていますか？	現在、川越市行財政改革推進計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定し、歳出の抑制や歳入の確保に向けた取組を進めております。 市債については、市債発行額を管理しながら大規模建設事業を計画的に進め、後年度の公債費の削減を図っています。 使用料・手数料については、平成30年度に定めた「使用料・手数料設定の基本方針」に基づき、受益者負担の適正化に向けて検討を進めています。 市税については、市税収入の増加にも資するものとして、市税収入率の向上、企業誘致のほか、人口減少問題や経済規模の縮小等への対策に積極的に取り組むため、地方創生の取組を進めております。 地方創生の具体的な取組としましては、若者に対する市内就業のための情報提供支援や、川越市文化創造インキュベーション施設などを活用した創業支援、川越産農産物の魅力を高めるブランドづくりなどに取り組んでいるところです。	21